

## 令和4年度「かごしま地域活性化協働推進事業」実施結果

(事業名) 甌島トライアルステイ事業

実施主体

(団体名) 東シナ海の小さな島ブランド(株)



### 背景

- 甌島には、高校がなく少子化に拍車がかかっており、島全体でおよそ 50%弱が高齢者となっている。
- 近年、新型コロナウイルスの影響もあり、都市部からの離島地域への興味・関心が高まってきている。
- 自然環境・生活文化が豊かな甌島列島への移住やリモートワーク、多地域居住(UIJ ターン含む)などの問い合わせが増加している。

### 地域課題

- 甌島地域には、不動産業者がなく貸家・売家を探すのは、容易ではない状況が続いている。
- また、その他のウィークリーやマンスリーなど短期的な滞在に適した形式の住宅サービスも不足しており、移住に繋がらないケースも増加している。
- 現在、様々な観光プロモーションによって地域の知名度は高まってきている一方で、UIJ ターン希望者に対する手引きとなるようなガイドブックもなく、将来の島づくりを考える上でも大きな機会損失につながっている。

## 事業のねらい

- UIJターン希望者に対して、短期でのトライアルステイ(移住体験)を実施できる環境整備を行い、UIJターナーの確保・定着を促進させることを目的とする。
- トライアルステイという選択をつくり、実際に短期間でも島に暮らしてみることで「移住」に対する経験を得て、心理的ハードルを下げるができる。
- 関係人口の構築にも繋がり、移住にあたって地域との信頼関係を事前につくることができる。また、移住後のミスマッチやトラブルを事前に防ぐことを図り、移住への安心感を持ってもらう。

## 事業概要

令和4年7月 移住体験への参加者募集

令和4年10月 甌島にて移住体験の実施(参加者2組3名)  
(体験内容:空き家での生活、移住者との交流、島民との交流、日常的な滞在)

令和4年10月 甌島にて移住体験の撮影・インタビュー

令和4年11月 移住ガイドブックの制作・編集作業

令和5年2月 プロモーション動画の配信

令和5年2月 甌島移住ガイドブックの配布



## 成果

- 移住体験への参加者応募総数 12件
- 移住体験への参加者の2組3名の移住体験を実施
- 甌島移住ガイドブック3,000部を作成し、県内外に配布
- 甌島移住促進のための動画2本、短編動画6本制作  
◎動画再生回数:278回  
◎短編動画再生回数:6,167回  
※(2023年2月末現在)
- **移住体験を通して、参加者1組2名の移住が決定**
- **2023年4月に下甌島手打集落に移住予定**



## 協働の状況

- 東シナ海の小さな島ブランド株式会社,  
島守株式会社  
トライアルステイの実施及び移住ガイドブック, 移住プロモーション動画の作成
- 鹿児島県北薩地域振興局  
記者発表による情報提供, 振興局HP,  
facebook掲載, 移住ガイドブック作成協力  
及び県外への配布等
- 薩摩川内市役所  
移住ガイドブック作成協力及び配布協力  
等

## 今後の取組

- 引き続き, 空き家情報の収集と確保を進める。
- 問い合わせが来たときに, 事務的なやりとりではなく, 適切な部署と担当者へつなげるようにすることが目標。
- 市全体で移住しにくい現状を把握し, 連携して柔軟な対応ができるようになっていけることが望ましい。
- 市や県と連携して, 移住定住フェアなどへの出展をサポートできるとリアルな地域情報を移住希望者に届けることが可能になる。

## 協働事業の感想

### 団体からの声

- 県北薩地域振興局担当者を中心に, 移住への困りごとを理解していただき, 一緒にいいものを作ろうと尽力してもらって心強かった。
- 完成した移住ガイドブックを甑島移住の手引きとして, 県内外に配布し, 移住希望者に甑島を知ってもらうとともに普段現地には暮らしていない市や県の職員にも甑島地域のことを知ってもらえたら, 移住検討者の方にとっても安心だと感じた。

### 担当課からの声

- 本事業を通して, 移住希望者が実際に島に移住するまでには様々な壁があることがわかった。
- また, 甑島は人との関わりや雄大な自然に恵まれた魅力的な島であることが体感できた。
- 甑島を移住希望先として考えている人たちに移住ガイドブックを手引きとして活用していただくことで移住・交流の促進を図りたい。